



津屋崎庁舎 再生整備計画の概要

●再生整備の目的

庁舎統合後の津屋崎庁舎を、市民の生活拠点となり賑わいを生む施設とすること

●再生整備施設の機能

図書館、歴史資料館、喫茶コーナー、貸事務所、学習室、多目的スペースなど

※再生整備計画に掲げていた地域行政拠点（行政サービス窓口）は、現在の文化会館健康センターを別途「津屋崎行政センター（仮称）」として整備するよう計画しています。

詳細については、改めてお知らせします。

基本設計の概要

●フロア内で混ざり合う機能

1・2階は、空間に広がりをも

津屋崎庁舎の再生整備に向けた 基本設計が進んでいます

市では現在、市役所庁舎の分庁方式を改め、福岡庁舎への統合を進めています。統合後の津屋崎庁舎については、市民の意見をもとに審議会での審議を経て、平成26年3月に津屋崎庁舎再生整備計画を策定し、平成27年1月より再生整備に向けた基本設計を行っているところです。

このたび、基本設計のレイアウト案がまとまり、中間報告会を開催しますのでお知らせします。

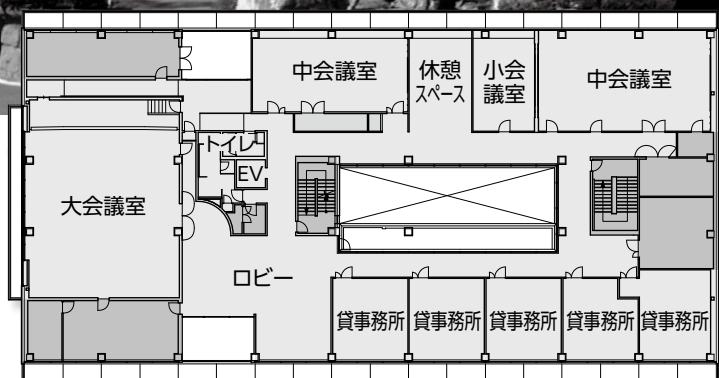
基本設計の 中間報告会を 開催します

津屋崎庁舎再生整備基本設計に関する
中間報告会を開催します。
多くのかたの参加をお待ちしています。

- 日時 8月2日(日) 10:00～
- 会場 福津市役所津屋崎庁舎
1階ロビー
(正面玄関からお入りください。)

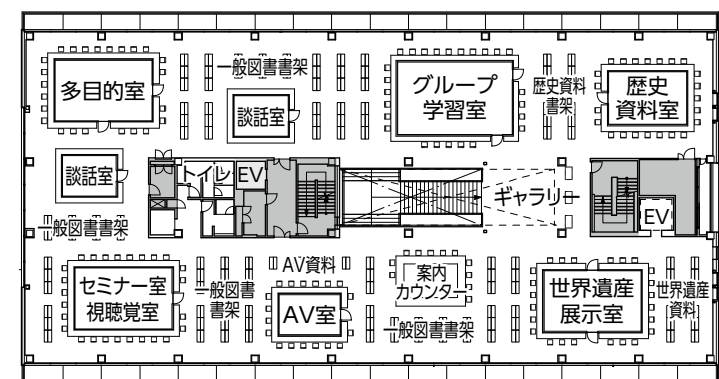
3階

3階は、民間事業者などの入居を想定した貸事務所、入居団体が会議を行うことができる会議室を設置します。1・2階との開館時間の違いを想定し、1階からの独立した動線を確保します。



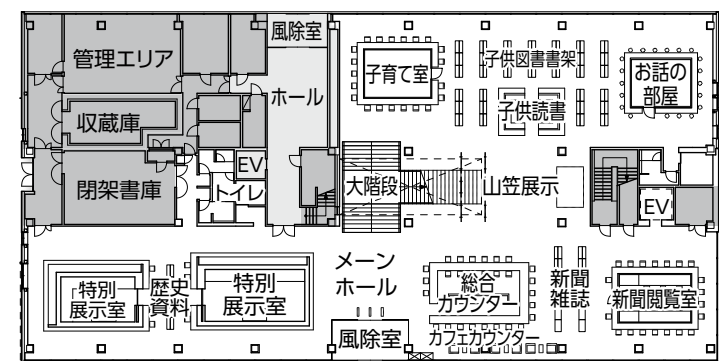
2階

2階は、図書館を中心に歴史資料室、世界遺産展示室などのブースを配置します。図書館の書架は、高さを抑え間隔にゆとりを持たせて配置することで、圧迫感をなくした居心地のよい空間を作ります。



1階

1階は、図書館の子供図書や新聞・雑誌コーナー、歴史資料館、カフェカウンターを設け、施設の顔としての賑わいを創出します。また、歴史資料特別展示室のブースでは、市内で出土した貴重な文化財などを展示できるように整備します。



□：図書・歴史資料館等エリア □：貸事務所・会議室エリア □：管理収蔵エリア

持たせるために、廊下をなくしたワンフロア型としています。図書館、歴史資料館、喫茶コーナー、学習室など、さまざまな機能が各フロア内で混ざりあうことで、より多様な情報を提供でき、それぞれの機能が相乗効果を生み出すレイアウトとしています。

●1・2階をつなぐ大階段

中庭を屋内化し、1・2階をつなぐ大階段を設置することで、二つの階に一体感を持たせ、わかりやすくアクセスしやすい構造にしています。

●さまざまな用途を持つブース

1・2階のフロア内には大小のブース（壁で仕切られた小部屋）を設け、歴史資料特別展示室やグループ学習室、歴史資料室、子育て室、世界遺産展示室などさまざまな用途を持たせます。また、ブースの壁は1・3メートルから上をガラス張りとし、フロア全体を見渡せる開放感を演出します。ブースの外周には閲覧机やベンチを設け、ゆとりと読書を楽しめるように工夫しています。